

プラン比較

	お手軽導入プラン	通常プラン
地震時の自動安否確認通知	✓	✓
システムによる自動回答集計	✓	✓
未回答者に対する自動リトライ送信	✓	✓
システムの柔軟なカスタマイズ		✓
音声サービス（オプションの利用）		✓
こんな方におすすめ	・初期費用を抑えたい ・まず安否確認や一斉連絡ができればよい ・細かな設定は面倒だから、初期値で問題ない	・自社に合わせて設定のカスタマイズをしたい ・すべての機能を使えるようにしておきたい ・音声サービス（オプション）を使いたい

※音声サービス…安否登録を電話（自動音声）で登録できる機能。有料で別途申し込みが必要

料金表

お手軽導入プラン

推奨設定値で簡単に導入。初期費用半額ではじめられます。

初期費用 契約毎 **100,000円** (税込 110,000円)

通常プラン

柔軟な設定が可能。自社用に細かく設定を変更できます。

初期費用 契約毎 **200,000円** (税込 220,000円)

月額利用料の内訳



基本使用料【契約毎】



サービス使用料【ID毎】



月額費用（オプション）

月額利用料

◎メールの受信やWEBへのアクセスに関わる通信量は、別途お客さまのご負担となります。

ID数 ※1	お手軽導入プラン・通常プラン	
	基本使用料【契約毎】	サービス使用料【ID毎】
10～990	10,000円 (税込11,000円)	40円 (税込44円)
1,000～1,990	16,000円 (税込17,600円)	30円 (税込33円)
2,000～2,990	22,000円 (税込24,200円)	
3,000～3,990	28,000円 (税込30,800円)	
4,000～4,990	34,000円 (税込37,400円)	
5,000～5,990	40,000円 (税込44,000円)	20円 (税込22円)
6,000～6,990	46,000円 (税込50,600円)	
7,000～7,990	52,000円 (税込57,200円)	
8,000～8,990	58,000円 (税込63,800円)	
9,000～9,990	64,000円 (税込70,400円)	

月額費用（オプション）

オプションメニュー	お手軽導入プラン	通常プラン
家族サービス[ID毎]※2	10円 (税込11円)	10円 (税込11円)
音声サービス[回線数毎]※3		50,000円 (税込55,000円)
設備情報追加[ID毎]※4		20円 (税込22円)
設備担当数追加[ID毎]※5		30円 (税込33円)

利用期間

最低利用期間は、お手軽導入プラン / 通常プラン共通で一年間になります。(最低利用期間内の契約ID数の減少及び契約解除については、違約金が発生します。)

注意事項

【お手軽導入プラン】
1. 各階層の管理者権限など詳細の設定は、弊社指定の設定値によるものとします。
2. 音声オプションはご利用いただけません。
3. お手軽導入プランから通常プランに変更される場合は初期費用の差額100,000円(税込110,000円)をいただきます。

※1 10,000ID以上は1,000ID毎に6,000円 (税込6,600円)追加となります。※2 10ID単位でのご契約となります。※3 1回線のご契約で23同時通話分のお客さま専用回線を提供します。上記金額には、通話料(国内)が含まれています。音声ガイドをカスタマイズする場合は、制作費として別途料金50,000円(税込55,000円)をいただきます。
※4 従業員と家族間のメッセージ共有機能です。契約ID単位のお申し込みとなります。1IDあたり5名の家族を登録可能です。※5 10設備単位でのご契約となります (基本メニューで設備数100まで利用可能)。※6 10ID設備担当単位でのご契約となります (基本メニューで設備担当数300まで利用可能)。

非常時だからこそ 平常でいるために

手間なく社員との「安心」を繋がます

大災害にも安心の安否確認システム

Biz安否確認/一斉通報

■ 予測の難しい地震の発生時は自動で通知

■ 自動リトライ送信で返答を催促する手間を削減

■ 自動で回答を集計&リアルタイム確認

Biz安否確認 / 一斉通報に関するお問い合わせ先

NTTコミュニケーションズ株式会社

ホームページ www.ntt.com/anpi

記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

2021.3 Copyright © 2021 NTT Communications

＼ このようなシーンでご活用いただけます！ ／

事業継続に重きを置いた 災害対策への取り組みに

グループ支社を統制する安否確認や、運用負荷の分散としてグループごとに運用管理できます。

グループ全体の安否確認、状況把握など

安否確認後の 次の連絡手段として

従業員からの回答をもとに、例えば出勤可能と回答のあった従業員だけに次の指示ができます。

安否確認後、連絡指示の一斉通知など

広報や会議開催などの アンケートの手段として

平常時の連絡手段として、会議・会合の開催通知や情報配信ツールとして利用できます。

会議の連絡、広報の案内など

サービス概要イメージ

災害発生時の場合



企業の 総務・人事部のみなさん。

このようなお悩みありませんか？

- ✓ 緊急連絡を短時間で実施すると回答してもらうために人手がかなりかかってしまう
- ✓ 万が一災害対策管理者の自分が被災すると、安否情報や連絡を社員に通知できるか心配
- ✓ BCP対策として安否確認体制の構築を指示されたが、どうやって連絡手段を確保してよいかわからない
- ✓ 安否情報を集めたり、集計したりすることに膨大な時間がかかっている
- ✓ 緊急時に会社支給のスマホやPCがないと、安否情報や連絡を見てもらえないのは困る
- ✓ 緊急時でも動ける社員を確保して、いち早く事業復旧できる体制を築いておきたい

Biz安否確認/一斉通報の特長

特長-1



予測の難しい地震の発生時は自動で通知。
もう管理者の手を煩わせません

指定した震度以上の地震が発生した場合は、気象庁からのデータをもとにシステムが自動で安否確認の連絡を送信。地震直後で混乱状況にあっても、あなたの代わりにシステムが従業員の安否をお調べします。もちろん手動で一斉通知もできるので、台風や異常気象時などにも使えます。他の災害についてはスケジュール機能をご利用いただくと便利です。

特長-2



自動リトライ送信で返答を催促する手間を削減！
もう「返事が来ない…」とは悩みません

通知に対して回答がなければ、システムが自動でリトライ送信します。回答されるまで最大5回までメールを送ってくれるので、もう「返事が来ない…」と悩む必要はありません。また管理画面では、誰が回答したか、回答していないかも、リアルタイムに確認できます。

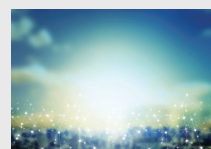
特長-3



手作業の集計は不要！システムが代わりに
自動で返信を集計&リアルタイムに報告します

安否確認などの通知に対する返信は、システムがあなたに代わって自動集計。最新状況をPCもしくはスマートフォンでリアルタイムで確認できるため、企業の人事・総務の方の集計報告業務を大幅に削減します。また回答に応じて個別に通知も可能です。

Biz安否確認/一斉通報 が選ばれる3つの理由



過去の激甚災害でも安定稼働した設備・ネットワーク

システムの開発からインフラ、保守まですべてNTTコミュニケーションズが手掛け、データセンターは重要インフラである電気通信施設の中に直接収容。過去の激甚災害時も安定稼働の実績。



PCやスマートフォン操作に慣れない方でも迷わず簡単に回答できます

Biz 安否確認 / 一斉通報で送られた通知は、メールやアプリからすぐに回答可能。とてもシンプルな画面なので、PCやスマートフォン操作に慣れない方も安心です。



24時間365日対応の無料ヘルプデスク

すべてのプランに無料のヘルプデスクが付帯。お電話もしくはメールにて、24時間365日いつでも対応します。トラブル時も安心です。

主な機能



グループ管理・送信機能

拠点ごと、部署ごと、チームごとほか、所属の組織とは別に横断しのグループを作って通知することも可能です。



マルチデバイス対応

PC、携帯電話、スマートフォンなどから利用可能。オプションで音声ガイダンスにプッシュボタンで回答もできます。



従業員による登録情報変更機能

従業員が自分でメールアドレスやパスワードを登録・変更できるため、管理者の対応工数を削減できます。



災害時の認証スキップ機能

ID、パスワードを忘れて回答できないことを防ぐため、災害時は一定時間まで認証をスキップして回答できる機能もあります。



掲示板機能

管理者が作成したメッセージや画像を掲載できます。公開期間や範囲も制限できるため、安全・効率的に情報伝達を行います。



GPSの位置情報取得

スマートフォンのGPS機能を利用して、従業員がどこから回答したか確認できます。もちろん取得しないことも可能です。



個人情報の閲覧制限機能

設定で、個人の連絡先を閲覧できる権限を設定可能。従業員のプライバシーに配慮しつつ、サービスを活用できます。



メールアドレス複数登録

最大3つまでメールアドレスを登録可能。個人のPCやスマートフォンでも通知を確認、回答できます。



回答状況のCSV出力

利用者から集まってきた回答はCSV形式でダウンロードも可能。報告書作成の際にも面倒はありません。